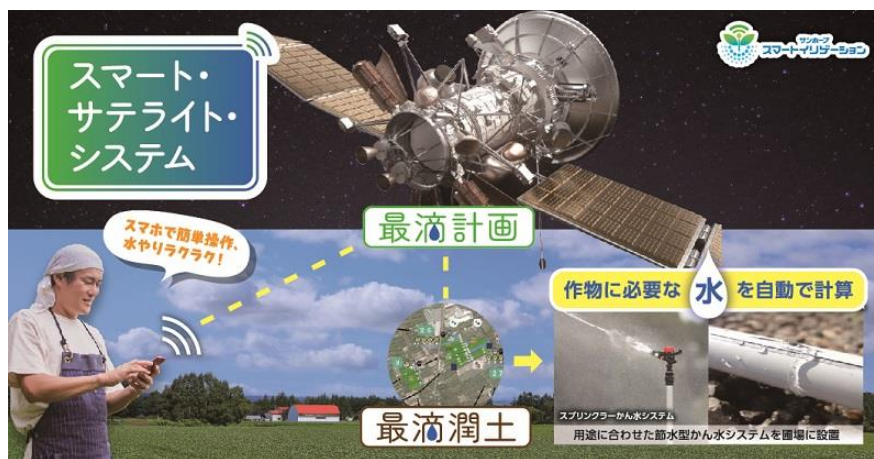


# 露地栽培のかん水管理を DX 化する スマート・サテライト・システム サテライトセンシングによる

ムノル具社管の無料体験を中絶！

農業用かん水資材の輸入商社サンホープ（本社：東京都目黒区 社長：益満ひろみ）は、今年4月よりサテライトセンシングによりかん水量を自動計算するソフトウェア、高性能コントローラー、節水型のかん水システムから成る「スマート・サテライト・システム（SSS）」の販売を開始。



8月中旬よりHPのSSS特設ページをリニューアル。かん水量を自動計算するソフトウェア「最滴計画」の21日間無料体験をご利用いただけるようになりました。圃場の場所や作物を入力して使用可能となる体験版では、独自のアルゴリズムで計算される水量で作成されるかん水スケジュール、高解像度衛星画像が映し出す作物の成長具合などを確認することができます。

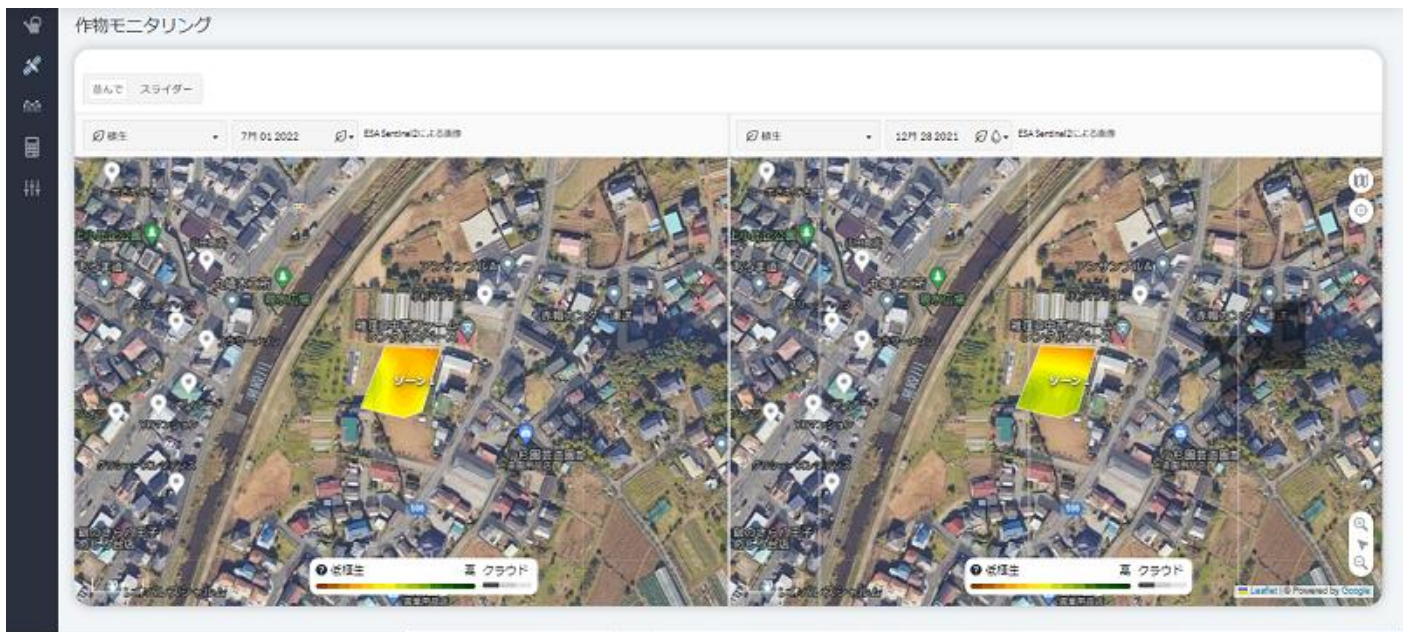
【特設ページ URL】 <https://www.sunhope.com/products/sss.html>

## 【SSSの特徴】

天候不順や雨不足の影響を直接受ける露地栽培において、計画通りの収量を確保するためには作物の成長に合わせた水やりが不可欠。SSSは、サテライトセンシングにより作物が必要とする水量を自動計算。その水量をコントローラーのかん水プログラムに反映し、ドリップチューブやスプリンクラーなどのかん水資材を自動制御。データに基づいた最適なかん水管理を行うことができる日本初のシステムです。



作物モニタリングの画面では、サテライトの画像で作物の成長具合を知ることができます。作物の生育状態を圃場の含水量で視覚化。含水量が少ない＝育ちが悪い＝茶、含水量が多い＝育ちが良い＝緑。過去データとの比較も可能。今作のかん水プログラムの改善に活かすことができます。



## 【SSS が栽培管理に有効だと感じる方 90%以上！！】

8月24日（水）、SSSをテーマにしたウェビナー「水やりの計算は「サテライトにおまかせ！露地栽培のかん水管理をDX化するスマート・サテライト・システム」を開催。開発技術部の主任が商品概要、かん水量の計算方法、活用方法などを丁寧に説明。ウェビナー終了後のアンケートでは、SSS導入への関心が高いという結果を得ました。（ウェビナー参加者：37人 アンケート参加者：27人）

Q：作物の状態に合わせてかん水量を計算するSSSは、栽培管理に有効だと感じますか？

強く感じる 40%

感じる 52%

感じない 8%

Q：SSSを導入してみたいと思いますか？

強く思う 18%

思う 52%

思わない 26%

Q：SSSを導入することで、何を期待しますか？（複数回答）

栽培管理の効率化 31%      かん水作業の省力化 26%      収量、品質の向上 22%

栽培ノウハウの確立 14%      節水を通しての環境保全 7%

【本件に関するお問合せ先】

株式会社サンホープ（東京都目黒区中目黒1-1-71 KN代官山4F）TEL:03-3710-5675 FAX:03-3791-7119

担当者：企画課 本多洋子 E-mail：[y.honda@sunhope.com](mailto:y.honda@sunhope.com) mobil:080-3475-6590